

表紙のこぼ (世界遺産シリーズ)



モロッコ マラケシュ旧市街
1985年 ユネスコ世界文化遺産登録

モロッコ中部に位置し、ベルベル語で「神の国」を意味するマラケシュは、11世紀、この地を治めていたイスラム王朝の都として築かれた。城壁に囲まれた旧市街には、12世紀に建てられた美しい尖塔を持つクトゥピア・モスクなど、貴重な歴史的建造物が豊富である。街の中央にあるジャマ・エル・フナ広場は、文化と交易の中心として栄え、現在でも屋台や多彩な大道芸でにぎわっている。周辺には迷宮のようなスーク(市場)が広がり、活気に満ちた広場の文化空間は、世界無形文化遺産にも登録されている。

CONTENTS

- 2012年度 FUJITSUファミリー会 春季大会 2
- ICT 基礎講座 Close-Up 6
迅速な意思決定を支援する「ビジネスアナリティクス (BA)」
- トップは語る 10
頸城自動車株式会社 代表取締役社長 大竹 和夫 氏
- 講演録 12
元・経済産業省官僚 古賀 茂明 氏
- 豊かに生きる誌上セミナー HUMAN HUMAN 14
人と組織を活性化させる秘策 ほめて育てる ① 有限会社C's 代表取締役 西村 貴好 氏
- Family's Information 15
- 支部見聞録 (北海道支部) From 羊蹄山麓エリア 18

2012年度 FUJITSUファミリー会 春季大会



5月18日(金)、帝国ホテルにおいて、2012年度春季大会が開催されました。「東日本大震災への復興支援」という継続活動テーマを柱の一つに開催された大会には、全国各地から820名を超える会員・関係者が集まりました。



FUJITSUファミリー会 会長
横塚 裕志 氏



富士通株代表取締役社長
山本 正巳 氏



司会
FUJITSUファミリー会常任理事
中島 昭能 氏

大会に先立ち、2012年度総会が行われ、2011年度の活動報告、会計・監査報告があり、2012年度の活動方針・予算・本部役員がそれぞれ承認されました。

春季大会は、中島常任理事の司会のもと、横塚会長の挨拶で幕を開けました。「東日本大震災への復興支援」を継続活動テーマに、厳しいグローバルなビジネスの競争を勝ち抜くには、ICTの活用が必要不可欠であること。そのためには、会員同士が情報交換し、ともに学びあうことが重要と述べられました。

続いて、富士通(株)山本社長は、ブランドプロミス「shaping tomorrow with you」の下に、人にやさしいICTで豊かな社会づくりに貢献する中長期的ビジョン「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」を、そして、その下に「Reshaping ICT - Reshaping Business」を掲げ、さらなるよりよい方向への変革を目指し、ファミリー会とともに発展していきたいと述べられました。

式典に続いて、元・経済産業省官僚 古賀茂明氏による記念講演が行われ、日本が抱えるさまざまな課題に向けて熱い思いを語っていただきました。その後の懇親会では大勢の方で会場が埋め尽くされ、2012年度春季大会も大盛況のうちに終了しました。

(古賀氏の講演録は、本号に掲載しています)



懇親会



乾杯
FUJITSUファミリー会 副会長
小島 貞美 氏



司会
FUJITSUファミリー会 常任理事
鳥越 正敏 氏



富士通株 執行役員副社長
生貝 健二 氏



中締め
FUJITSUファミリー会 沖縄支部長
金城 正一 氏



東北の地酒コーナー



懇親会風景

2012年度総会報告

2012年5月18日(金)、2012年度総会が開かれました。

- 開会挨拶 FUJITSUファミリー会 会長 横塚 裕志
- 議長選出
- 総会議事
 - 第1号議案：2011年度活動報告
 - 第2号議案：2011年度会計報告
 - 第3号議案：2012年度活動方針
 - 第4号議案：2012年度予算
 - 第5号議案：2012年度本部役員候補



総会風景



議長 横溝 治行氏



2012年度活動方針

経営のグローバル化により先行き不透明な時代において、企業が成長を続けていくためには、事業環境の変化に応じたビジネス展開を柔軟に行っていくことが一層求められており、それに伴いICTが経営に果たす役割は益々重要となっている。

特に昨年3月に発生した東日本大震災では、防災／事業継続(BCP)や危機管理の重要性があらためて見直され、防災／事業継続を見据えたクラウド導入への関心が高まりつつある等、企業内におけるICTの活用領域は、今後も一層の拡がりを見せられると思われる。

また、新たなトレンドとして、FacebookやTwitter等のソーシャルメディアやスマートフォン、タブレットといったモバイル機器の普及やビジネスへの活用も大きく進み始めている。

このようにICTの果たす役割が、幅広い分野に及んでいる中、ICT部門では自社の事業分野により立脚した見地から、経営に参画できる人財を育成することが求められている。

これらの状況を受け2012年度のファミリー会は、グローバル時代におけるユーザ会のあるべき姿を追求しながら、会員相互の人財力向上やICT活用を通じた事業貢献の実現、会員相互の活発な交流を図る様々な活動を展開し、会員にとって有意義且つ魅力あるユーザ会を目指す。

①グローバル経営に対応したICT活用の促進と、会員各位が抱える課題解決の支援に役立つ活動の推進

- ・クラウド・コンピューティング、仮想化技術をはじめとするICTの将来展望、ビジネス戦略や国際競争優位に直結するICTに関する最新トレンドや企業内適用事例、企業内ICT活用の視察や時事講演等、会員企業の課題解決に役立つ活動を推進する。
- ・会員各位がICTへの見識を深め、ICTの利活用を経営戦略に繋げられる活動と、グローバル時代に即応できる次代を担うICT人財の育成支援を、会員ニーズへの適切且つ迅速な対応と併せ一層推進する。

②地域特性を活かした活動の推進と会員サービスの均質化

- ・地区セミナーや県別行事等、地域密着を志向したセミナーにおいて、地域の特性を活かした企画・運営や他支部行事への参加による支部間連携を通して、会員間の情報ギャップ解消と会員サービスの全国均質化を図るとともに、会員参加機会の増加促進と会員活性化に繋げる。

③先進ICTに関する研究活動の推進と情報共有

- ・先進のコンセプトや最新技術の適用方法等、LS研究委員会におけるICTに関する最先端の研究活動の推進と研究成果の共有を積極的に図り、会員相互の研鑽・交流を推進する。

④会員相互のコミュニケーション強化

- ・固定メンバー制による小規模の分科会・研究会等の継続した研究活動、ディスカッションやグループワークを交えた実践形式の研修会等、受講者の相互交流が図れる活動を積極的に推進し、会員相互の交流を通じたヒューマンネットワーク構築を支援する。



2012年度本部役員

* 役職名等は2012年5月18日時点のものです。

	● 会員名	● 役職名	● 氏名	● 備考
会長	東京海上日動システムズ(株)	代表取締役社長	横塚 裕志	
副会長	(株)デイリーヤマザキ	取締役管理・情報担当ディレクター	小島 貞美	
"	第一生命情報システム(株)	取締役常務執行役員	足立 伸男	
理事	日本通運(株)	常務理事 IT推進部長	野口 雄志	会長推薦
"	(株)トウ・ソリューションズ	代表取締役	鳥越 正敏	"
"	日揮情報システム(株)	代表取締役社長	中島 昭能	"
"	テルモ(株)	執行役員	鈴木 実	"
"	(株)エステイ情報システム	代表取締役社長	尾張 充	北海道支部推薦
"	(株)河北新報社	専務取締役	穴戸 實	東北支部推薦
"	キリンビジネスシステム(株)	代表取締役社長	横溝 治行	関東支部推薦
"	フレックスジャパン(株)	取締役	徳武 初男	信越支部推薦
"	清水建設(株) 北陸支店	営業部長	中野 久	北陸支部推薦
"	アイシン精機(株)	情報システム部長	楠井 博敦	東海支部推薦
"	コクヨ(株)	情報システム部 部長	小嶋 浩毅	関西支部推薦
"	(株)サタケ	取締役副社長	福森 武	中国支部推薦
"	(株)タダノシステムズ	代表取締役	木村 修	四国支部推薦
"	九電ビジネスソリューションズ(株)	代表取締役社長	中川 正裕	九州支部推薦
"	(株)りゅうせき	ITソリューション事業本部 統括部長	金城 正一	沖縄支部推薦
監事	(株)みずほ銀行	IT・システム統括部長	加藤 昌彦	
"	朝日生命保険(相)	事務・システム統括部門 情報システム担当副統括部門長	下中 実直	



2011年度 FUJITSUファミリー会論文 入賞論文表彰

論文表彰では、2011年度論文委員会 竹中委員長からの論文審査の経緯についての報告に続き、ファミリー会横塚会長から賞状と賞金の授与がありました。入賞者の方々は、緊張しながらも会場からの大きな拍手に応えていました。



論文委員会 委員長
竹中 正彦 氏
古河スカイ(株)

2011年度は、28編の応募があり、論文委員会で厳正な審査をした結果、秀作論文1編、奨励論文4編を入賞論文として選定させていただきました。

今回の入賞論文は、「エネルギーマネジメントシステム」などのタイムリーなテーマから、「テレビ会議システム更新によるコストダウン」「ICT」「人材育成」など多彩なテーマが集まり、例年と違った特徴的な内容となりました。真摯に課題に取り組み、考察が加えられた論文は、会員の方々にも広く参考になり、活用できるものと確信しております。

また、昨日5月17日の「富士通フォーラム2012」において、入賞論文4編の発表がございました。発表いただいた方々、ご来場いただいた皆様にお礼を申し上げます。

ここで2012年度の応募についてお願いさせていただきます。本年度から入社3年までの方を対象とした小論文形式の新人賞を創設いたしました。従来の論文ともども、ぜひこの機会に広く応募いただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、論文を執筆いただきました皆様、一緒に審査していただいた論文委員の方々、ならびに事務局にお礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

秀作論文

システム開発における顧客満足度向上への取り組み ～業務部門とシステム部門の異なる視点に学ぶ～

● JX日鉱日石インフォテック(株) 宮崎 孝典 氏



当社は、JXグループ各社のIT機能会社として、新規システム構築をはじめ、保守・運用を受託しております。今回の論文を書く動機となったのは、業務知識を習得する目的でグループ会社の業務部門へ出向するという経験の中で、両部門のシステム構築に対する考え方に大きな相違を感じ、システム部門にとって改善の必要性を感じたことでした。技術的なテーマが多い中で、「出向」という個人的な経験が評価されたことを、大変うれしく思います。社外の方に評価を受ける機会はありません。後輩たちにも一度はチャレンジしてほしいと思います。



奨励論文

スマート&コンパクトコミュニティの核となる商業施設向けエネルギー マネジメントシステム(EMS)実証事業への取り組みについて

● 日揮情報システム(株) 三田村 知行 氏



当社は、経済産業省「次世代エネルギー・社会システム実証事業」において、「スマート&コンパクトコミュニティ」の核となる商業施設向けエネルギーマネジメントシステム(EMS)の開発を行っております。東日本大震災以来、不安視されているエネルギー、特に電力事情に着目し、また、この論文を機に、我々が取り組んでいる事業とその可能性を知っていただきたいという思いから、論文のテーマを決定しました。今回ご紹介した事業は、まだ道半ばです。事業が終了した折には、その結果を最終章としてまとめ、再チャレンジしたいと思っています。



奨励論文

映像コミュニケーションシステムの高度化

～業務効率化・コスト低減の実現～

●四国電力(株) 門屋 匡俊 氏



論文応募のきっかけは、当社の「映像コミュニケーションシステム」を社外の方に知っていただく良い機会になると考えたためです。今回、本システム更新にあたり、ユーザーズの高かった「映像の精細化」「現場映像のリアルタイム伝送機能」「社外とのテレビ会議機能」などの新機能を導入し高度化を図った結果、業務の効率化やコスト削減などに大きな効果がありました。ICTの課題を抱えている企業が多い中、論文という形で成功事例を発表することは、同じ課題をもつ方々に貢献できるものであり、技術継承の点からも意義あるものだと思います。



中小企業におけるIT活用

～コストを抑えた取り組みの成果と課題～

●(株)九州コーユー 川浪 龍哉 氏



ICTの活用は、中小企業においても必要不可欠なものです。投資資金や人的な問題が限られる中では、十分に活用できない場合も多いと思われます。当社も同様の状況にあり、ICT化を進めるための改善活動を行っています。今回は、私が参加している改善活動「情報化推進委員会」の取り組みについて、論文にまとめました。論文は、当社のような中小企業が、少ないコストで、どのようなIT化が実現できるかということを知っていただくよい機会です。論文を書いたことで日頃の業務の課題なども整理でき、よい経験となりました。またチャレンジしたいと思います。



IT人材の効果的な育成のあり方

●富士通エフ・アイ・ピー(株) 中崎 博明 氏



長年、人材育成に携わっており、昨今のICT人材の育成に関して、日頃から持っているアイデアや提言を、論文という場を借りて、体系的に整理したいと思い、応募しました。人材の育成は、企業の経営戦略の一つでもあり、その企業が目指すべき将来の姿を実現する重要なことでもあります。「人材」を「人財」に育てる「人財育成」には、まだまださんの課題があります。このような発表の機会がありましたら、ぜひ挑戦したいと思っています。また、人材育成を担当している立場として、多くの方に論文執筆にチャレンジしていただきたいと思っています。



2011年度入賞論文は、FUJITSUファミリー会論文ホームページから閲覧できます。

<http://jp.fujitsu.com/family/article/>
(入賞論文をはじめ応募全28編を掲載)

※論文の全文(PDF文章)を閲覧するには、「FAMILY ROOM」のIDとパスワードが必要です。IDをお持ちでない場合は、新規登録をお願いします。詳しくは、FUJITSUファミリー会のWEBサイト(<http://jp.fujitsu.com/family/>)をご確認ください。



富士通フォーラム2012

「Reshaping ICT - Reshaping Business」をテーマに開催された「富士通フォーラム2012」において、秀作論文1編、奨励論文3編の発表が行われました。多彩なテーマの発表に、来場のお客さまも熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

